

口唇口蓋同時形成術を受けられる方とご家族の方へ

入院診療計画書(クリニカルパス)

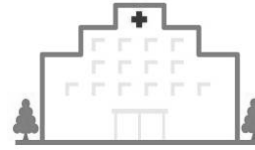
病名	口唇口蓋裂
術式	口唇口蓋同時形成術
入院年月日	
説明年月日	2023年8月2日
主治医氏名	
担当医氏名	
主治医師以外の担当者氏名	

*この予定は現時点で考えられるものであり、変わることがあります。
*ご不明な点がありましたら、お尋ね下さい。

***この用紙は入院当日忘れずにお持ちください。**

以下の内容について主治医・担当看護師より説明を受けました。

20 年 月 日



病歴番号 950000-0

氏名 こども 太郎

生年月日 2022年6月7日

性別 男

病棟名

患者氏名

家族氏名

(続柄)

病日	入院前日まで	入院日 月 日 手術前日	手術当日 月 日			～退院前日まで	退院日 月 日頃 退院後～
			手術前	手術中	手術後		
処置・検査・治療	*手術に必要な検査(血液検査・レントゲン、心電図)があります。 *感染症(はしか・水ぼうそう・おたふく・風疹)の確認をさせていただきます。	*身長・体重測定をします。 *体温・脈拍・呼吸・血圧を測定します。	*体温・脈拍・呼吸・血圧を測ります。	*全身麻酔で手術を行います。	*体温・脈拍・呼吸・血圧を測定します。 *手術後に鼻のチューブに鼻水が溜まって苦しくないようにチューブで鼻水を吸います。また、息が苦しくないように加温した酸素を投与します。	*鼻水が多い時は吸引をします。 *退院日の前日に3DCTの検査をします。	*口唇部分にマイクロア(茶色テープ)を貼ってください。
薬剤	*常用している薬があればお伝えください。	*薬を飲んでいる方は看護師に薬の名前とお薬手帳の提出をお願いいたします。	*常用薬がある方は麻酔科医の指示時間までに飲んでいただきます。	*術中に抗生剤の点滴や痛み止めの座薬を使用します。		*術後2日目まで点滴から抗生剤の投与を行います。 *ミルクなどの注入の消化状況や体調に応じて術後2日目を目安に点滴を抜きます。	*常用している薬はいつも通り飲んでください。(医師に必ず一緒に飲んでよいか確認をしてください)
食事	*いつも通りの食事で構いません。 *アレルギーのある方はお知らせください。	* 24時以降 は固形のものとは食べられません。	*水分制限の時間は下記のとおりです。 *最終ミルク <u> </u> 時 *最終母乳 <u> </u> 時 *最終水分 <u> </u> 時		*術後、医師の指示で、白湯をお鼻の管から注入し、消化具合を確認して翌日の朝からミルクを注入していきます。	*ご自宅でのミルク量や体重などを考慮しながらミルク等の投与を、お鼻のチューブから行います。 *退院前日、お鼻のチューブを抜き口からのミルクや食事の摂取を開始します。 *退院後の外来日までには離乳食等の柔らかいものを食べます。	*入院前に使用していた乳首での哺乳してください。 *原則直接母乳はできません。再開の時期は医師に確認をしてください。 *外来までには離乳食等の柔らかいものを食べましょう。離乳食のステップアップも外来までに行わないでください。
生活上の注意	*いつもの生活で構いません。外出したときはうがいや手洗いをし、風邪をひかないようにしましょう。				*鼻のチューブの固定テープが取れたり、チューブの抜けには十分注意してください。 *ベッド上安静となります。傷が下にならないように、仰向けか横向きですごします。傷の保護のため、抑制をさせていただきます。	*お鼻のチューブが抜けないように注意してください。手術の傷に影響があったり、注入中だと誤嚥を起こしたりする可能性があります。 *傷をこすったりぶつかけたりしないように注意が必要です。	*退院後2週間は作っていただいた肘関節帯とカバーの装着を行います。
清潔	*普段通り入浴してください。					*酸素投与終了まではベッド上で体拭きをします。その後はシャワーを行います。 *チュービングを行っている場合は耳に水が入らないよう、綿で耳栓をします。	*鼓膜チュービングしていれば両耳に綿球を入れ、耳に水が入らないようにしてください。 *腕が自由になる入浴中に傷をこすってしまわないよう注意しましょう。
説明	*入院案内をお読み下さい。 *術前の脱水予防のため、なるべく哺乳瓶でのミルク摂取を練習してください。	*術前のオリエンテーションがあります。お子様の日常生活についてお話し下さい。 *麻酔科医師の診察、手術室看護師の訪問があります。	*手術時間は <u> </u> 時です。	*手術中はPHSをお渡ししますので、院内でお待ち下さい。	*通常はHCUなどの集中治療を行う病棟で1泊します。 *お子様が眠っていてもベットを離れる際はベット柵を上げ看護師に声をかけて下さい。	*お鼻のチューブが抜けてしまうと傷からの出血を招く可能性があります。お鼻のチューブのテープが剥がれたり引っ張られたりして危ない時はすぐに看護師にお声掛けください。 *退院前日の日中に退院後の生活の指導を行います。面会に来られない場合は事前にお伝えください。 *中耳炎の治療を行っている場合は、入浴時に使用する綿の購入をお願いします。	*退院日のお迎え時間は9時です。 *退院後の連絡先 平日8:30～17:15 形成外来または形成医師まで。 夜間・土日祝日 外科直直にご相談ください。